

大田桜台 高等学校 令和6年度（1学年用）教科 外国語 科目 論理・表現Ⅰ

教科 外国語 科目 論理・表現Ⅰ 単位数 3 単位

対象学年組 第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者 (木下美) (磯) (斎藤) (井手)

使用教科書 (BIG DIPPER English Logic and ExpressionⅠ)

教科 外国語 目標 :

- 【知識及び技能】英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図を的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとする。

科目 論理・表現Ⅰ 目標 :

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語のきまりや特徴を単に知識として理解させるだけでなく、その培った知識を実際のコミュニケーションにおいて活用することができる技能が身につくようにする。	具体的な課題や状況を設定し、それに応じて情報を整理しながら、自分の考えなどを形成し、英語を使って表現したり、伝え合ったりすることができるようにする。	具体的な課題や状況を設定し、それに応じて情報を整理しながら、自分の考えなどを形成し、英語を使って表現したり、伝え合ったりすることができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
1 学 期	A Self Introduction / My favorite 【知識及び技能】 情報や考え、気持ちなどを適切な理由や根拠とともに段落を書いて伝える。 【思考力、判断力、表現力等】 これまで学習してきた事を用い、伝えたい内容を簡単な英語で表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 伝えたい内容を積極的に伝えようとし、また、他人の意見を聞かせる。	指導事項 ・スピーチの基本知識、技術を身に付けるようにする。 ・プレゼンテーション資料の作成及び発表準備を行う。 教材 ・ワークシート(授業内配布) 一人1台端末の利用 ・適宜端末を利用し、調べ学習をさせる。	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 正しい文法を用い、情報や考え、気持ちなどを適切な理由とともに書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 状況や場面に応じて、情報や考え、気持ちなどを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 状況や場面に応じて、情報や考え、気持ちなどを伝えようとしている。	○	○	○	20
	B 多読多聴 【知識及び技能】 既習済みの語彙力を活用して、多読多聴教材を読ませる。 【思考力、判断力、表現力等】 文の前後関係や、挿絵から意味や内容を推測し、語彙力を高める。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に教材を読んだり聞いたりし、英語を楽しませる。	指導事項 ・多種多様な情報を視覚や前後関係から読み取る力を育てる。 教材 ・多読及び多聴用図書 一人1台端末の利用 ・適宜端末を利用し、調べ学習をさせる。	○	○				【知識及び技能】 既に知っている語彙力をもとに、物語を読み進めたり、聞くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 わからない単語等も文の前後関係から推測し、物語を読み進めたり、聞くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 多くの多読多聴用教材を読んだり聞いたりし、そこから新しい語彙力を得たり、英語を楽しもうとしている。	○	○	○	12
	C Lesson1はじめに① Lesson2はじめに② Lesson4MyFriends 【知識及び技能】 主語・動詞が英文を書く上で重要であることを理解する。また、肯定文・否定文・疑問文の表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 主語・動詞・肯定文・否定文・疑問文に注意して、個々の内容を理解し、適切な思考・判断をもって対応できるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 日常の行動を表す表現を習得しようとしている。また、否定の表現を理解させる。	指導事項 ・どのようなときに肯定文・否定文・疑問文を使うのか、またそれぞれの作り方を理解させる。 教材 ・BIG DIPPER 一人1台端末の利用 ・適宜端末を利用し、調べ学習をさせる。	○	○			○	【知識及び技能】 主語・動詞・肯定文・否定文・疑問文の表現、また未来の表現をどのように用いるのか理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 状況や場面に応じて、notを用いて否定の意味を表現したり、疑問詞を使って様々な内容を質問できる。 【学びに向かう力、人間性等】 英語では否定語が日本語と比べて前のほうに置かれ、否定の意志を早い段階で表現することを理解しようとしている。また、日常の行動を述べる表現などを習得しようとしている。	○	○	○	10

2 学 期	<p>A My summer</p> <p>【知識及び技能】 情報や考え、気持ちなどを適切な理由や根拠とともに段落を書いて伝える。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 1学期に学習してきた事を用い、伝えたい内容を英語で表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 伝えたい内容を積極的に伝えようとし、また、他人の意見を聞こうとする。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学期に培ったスピーチの基本知識、技術を活用させる。 ・パワーポイントを用い、プレゼンテーション資料の作成及び発表準備を行う。 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート(授業内配布) 一人1台端末の利用 ・適宜端末を利用し、調べ学習をさせる。 	○	○	○	○	○	<p>【知識及び技能】 正しい文法を用い、情報や考え、気持ちなどを適切な理由とともに書くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 状況や場面に応じて、情報や考え、気持ちなどを伝えられている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 状況や場面に応じて、情報や考え、気持ちなどを伝えようとしている。</p>	○	○	○	20
	<p>B 多読多聴</p> <p>【知識及び技能】 既習済みの語彙を活用して、多読多聴教材を読み進める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文の前後関係や、挿絵から意味や内容を推測し、語彙を高める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 積極的に教材を読んだり聞いたりし、英語を楽しもうとしている。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多種多様な情報を視覚や前後関係から読み取る力を育てる。 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多読及び多聴用図書 一人1台端末の利用 ・適宜端末を利用し、調べ学習をさせる。 	○	○				<p>【知識及び技能】 既に知っている語彙をもとに、物語を読み進めたり、聞くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 わからない単語等も文の前後関係から推測し、物語を読み進めたり、聞くことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 多くの多読多聴用教材を読んだり聞いたりし、そこから新しい語彙を得たり、英語を楽しもうとしている。</p>	○	○	○	12
	<p>C Lesson6 Passtime / Lesson7 My town</p> <p>【知識及び技能】 自分自身や相手の未来の予定についてコミュニケーションを図る技能を身に付けている。また現在完了(進行)形・過去完了(進行)形についての表現を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 適切な場面に応じて未来や完了の表現ができたり、それらに注意して個々の内容を理解し、適切な思考・判断をもって対応できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 予定や完了の行動の内容を述べる表現を積極的に習得しようとしている。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未来形や現在完了形の意味、またそれぞれの作り方を理解させる。 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BIG DIPPER 一人1台端末の利用 ・適宜端末を利用し、調べ学習をさせる。 	○	○		○		<p>【知識及び技能】 英語で「未来」、また「完了結果」「経験」「継続」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。自分や話し相手の予定や経験などについてのコミュニケーションを図る技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ①適切な場面に応じて、willを用いて「自然の成り行き」「意志」を表現したり、be going toを用いて「前から計画していること」「近い未来の予定」を表現し、それらの意味に注意して適切な思考判断をもってそれに対応する。②適切な場面に応じて、have /had + 過去分詞を用いて現在/過去完了の意味を表現したり、have / had + been + ~ingを用いて現在/過去完了進行形の意味を表現したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 予定計画される行動の内容を述べる表現やある時点までの経験や継続される動作の内容を述べる表現などを習得しようとしている。</p>	○	○	○	10

[illegible]